

2024年度 東海大学大学院 第2回家族看護研究会

東海大学大学院家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて分析しています。今回は、『カルガリー家族アセスメントモデル』を用いて分析していきます。

テーマ「医療的ケア児をもつ養育期家族への関わり」
在宅で経鼻胃管や呼吸器を導入し、今後、胃瘻造設等の手術が見込まれる医療的ケア児。夫婦で事業を営みながら兄弟2人の育児とケア児との生活に不安を持つ家族。手術を前にNICUの看護師は、どのように関わればよいか。

プロフィール：新井陽子教授 北里大学看護学部を卒業後、北里大学病院に助産師として勤務。北里大学大学院博士課程を修了。2022年から群馬大学大学院保健学研究科看護学講座教授で現職。各地でカルガリー家族アセスメントモデルをもちいた家族看護教育と実践の普及に努めている。

【日付】2024年7月20日（土）

【時間】14:00～17:00

【会場】東海大学伊勢原キャンパス3号館

※参加ご希望の方は当日会場へ直接お越しください。事前申し込みは不要です。

問い合わせ先：東海大学家族看護研究会事務局担当（櫻井・小泉）

ホームページ：<http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス：dsakurai@tokai.ac.jp

電話：0463-93-1121（代表）

